

もっと北海道



環境出前授業

にしむら じゅん
西村 淳さん

1952年富山県生まれ。高校卒業後、海上保安官として第30次・第38次南極探検隊随員として南極に赴き、支隊・調理担当隊員として隊員たちの食糧を調達して来た。映画「南極料理人」の原作者。

北海道エコ・アクションでは、子どもたちが環境に興味を持ち、地球の未来について考えるきっかけとして「環境出前授業」を行っています。今回は「南極料理人」西村淳さんと、三井物産の森で林業に携わる方々が講師として登場。白い南極と緑の森から、子どもたちはどんなことを学んだのでしょうか？

三井物産の森

三井物産は林業を行なうから、100年以上森を守り、育てています。日本全国に保有する社有林は74の所、総面積は約4万4千ヘクタール。その8割は北海道にあり、道庁山林や狩猟山林などの大きな森では、自然観察や林業体験を行う森林環境プログラムも開催しています。



「南極料理人」西村淳さんの特別講演！ 「南極は究極のエコ！」

南極大陸・ドームふじ基地での越冬経験を、クイズや写真を交えてユーモラスに紹介。水と食糧に乏しい環境での調理アイデアやゴミの処理方法に驚き、美しいオーロラや動物たちの生きる姿に感動しつつ、食と自然の大切さを学びました。小樽潮見台小学校で講演を行った1月29日は昭和基地開設記念日にあたり、西村さんの言葉にもひとときわがこもった授業となりました。

●講師 西村 淳さん



「森のめぐみと林業」

生命が循環する豊かな森を育てるためには、人が手入れをすることが大切。授業では三井物産の森を例に「苗木を植え、木を育て、適切に間伐し製品やエネルギー(燃料)などとして活用し、また植える」というサイクルが森を育てることを学びました。三井物産の森に暮らす動物たちも紹介され、子どもたちは森と生き物が共生することの大切さも実感したようです。

●講師 三井物産(株) 齊藤江美さん(写真右)
三井物産フォレスト(株) 三浦史織さん(写真左)



2012年 11月13日(火) | 新琴似南小学校

参加したのは6年生86人。西村さんからのプレゼント付き南極クイズで大いに盛り上がり、丸太の輪切りに触って「木を切るの悪いことじゃないんだね」とうなずき合い、それぞれ環境への思いを新たにしました。



子どもたちの感想
森や木の木は、切ると環境に悪いと思っていたが、人が作った家は過度に切ることも必要ということが分かった。
水、森、林、人との協力がとても大切なのだということが分かった。
洗濯や食器洗いの時に水を出しっぱなしにしていたが西村さんのお話を聞いて水の大切さを学んだ。
南極では風速50mの時があったり、お湯をぶちまけると曇ることができるなど知らないこともあり、面白かった。



校長先生の感想

本校市立新琴似南小学校 校長 武石 直典
今の子どもたちは環境に関する知識はありますが、実際に自然と向き合ってきた人の話を直接聞くことのインパクトは大きいはず。林業という仕事を学んだことも「働く」ことの将来像をイメージするきっかけになったと思います。

2013年 1月29日(火) | 小樽潮見台小学校

6年生23人と保護者の方々が参加。南極の過酷な環境をユーモアを忘れず生き抜く観測隊員の姿に笑いや感嘆の音が湧きました。三井物産の森で木を伐採する映像は迫力満点。森を守り育てる林業の大切さを実感しました。



子どもたちの感想
南極の大変さ、美しさ、怖さが勉強になった。写真がすごかった。
私の知らないことも教えてもらえ、聞くだけではなく、丸太の輪切りやシカの角を見たり触ったりして楽しかった。
林業のことや木の大切さがわかった。森にとっても興味を持った。
話を聞いてますます自然に関わる職業に就きたいと思った。



校長先生の感想

本校市立小樽潮見台小学校 校長 早川 紀美
自然と共に生きる本物の知恵、その道のスペシャリストの歯痛感あるお話は、子どもたちの心を動かしたことでしよう。本校で実践している勝納川の生物採集や清掃活動と共に、人と自然の共生を考えるきっかけになればうれしいですね。

今できること、「考える」から「行動する」へ！

▶詳細は北海道エコ・アクションのホームページで 北海道エコ・アクション 検索 企画制作 北海道新聞社広告局

社有林

しゃゆうりん

企業が所有・管理する森のこと。三井物産はもう100年以上にわたって、広大な森を守り続けています。現在では全国に70か所以上、約44,000ヘクタールもあります。でも総合会社はどうして森を？ それは、地球環境を守るためであり、森が持つ社会的な価値を活かすためです。森は、多くの生命を支え、育む、エコロジーの宝庫。その大切な機能を、あなたはいくつご存じでしょうか？



全国70か所以上に広がる三井物産の森

温暖化防止に貢献します
三井物産の森は、地球温暖化の主な原因といわれている二酸化炭素を年間約16万トン吸収・固定するといわれています。

地球の浄水器です

森の土はスポンジのように雨水を蓄えて、洪水や濁水を防ぎます。そして雨水をゆっくりとろ過して水をきれいにしてくれます。



災害を防ぐ大黒柱です

山崩れなどの災害を防ぐのも森の大切な仕事。地中で深く広がった根は、土や岩をしっかりとつかえこみ、崩壊を防いでくれます。



エコロジーの学校です

植林や林業体験、森林観察学習講座、自然観察プログラム。三井物産の森は、環境教育や地域活性化にも役立っています。



動物たちのわが家です

さまざまな動物はもちろん、天然記念物や絶滅のおそれのある動物も、三井物産の森で数多く確認されています。



三井物産の森



www.mitsui.com/jp